

新型コロナウイルス感染症対策について

本大会は、(公財)日本陸上競技連盟の定める【陸上競技活動再開のガイダンス ③競技会開催について】および三重県の定める【県主催のイベントの開催基準】、本協会の定めるガイドラインに従い、大会運営を行う。

① 大会運営全般について

- 3密（密閉空間・密集場所・密接場面）を可能な限り排除する。
- 開会式・閉会式は行わない。
- 大会当日受付にて体調チェック表と高校生は学校長の出場認知書を提出する。提出なき場合は出場を認めない。
- 大会役員・競技役員ともに、当日審判受付にて体調チェック表を提出する。
- 選手・役員全ての関係者において、発熱症状や体調不良等が認められる場合は入場を認めない。
- 無観客大会**とする。（保護者・応援生徒・付き添い等の入場は禁止）
- 全ての大会関係者は、原則マスク着用とする。ただし、競技中（ウォーミングアップ等を含む）の選手や熱中症の健康被害が発生すると判断した場合は着用しなくてもよい。なおマスクを着用しない場合はソーシャルディスタンスを十分に保ち、咳エチケット等十分に配慮すること。
- 役員室・審判控室等の諸室は、熱中症対策として空調を効かせながらも換気を十分に行う。
- 看護師を常駐させる。
- 発熱者専用の個室を準備し、通常の医務室利用者と熱中症ではないと判断された発熱者を隔離する。
- 選手待機場所や昼食場所等は十分な広さを確保するが、ソーシャルディスタンスを保ち、向かい合っでの飲食や大声での会話は控える。
- メインスタンドを選手待機場所として開放する。ただし、座席の間隔を空けて距離を十分に保つこと。
- 選手を含む大会関係者に対して、大型スクリーンやLED表示板、放送等を活用し、感染症対策の注意喚起を適宜行う。
- 受付には透明パネル（フィルム）を設置し、飛沫感染対策を施す。
- 使用済みのマスクやティッシュ等は必ず持ち帰ること。会場にはゴミ箱等の設置はしない。

② 競技運営について

- 招集所では密を避けるため原則、トラック種目のみ招集を行い、フィールド種目は、跳躍種目を第4ゲート内、投てき種目を第2ゲート内で招集を行う。競技場入場の際は種目によって決められたゲートを使用し、進行中の競技に影響が出ないようにすること。また、トラック内フィールドに入場する場合は現地審判員の指示に従うこと。
マスターズは全て現地招集とする。
- 集団での応援・大声での応援・フィールド選手への声かけ（返事等）は禁止する。
- ゴール後スタート位置に戻るときは競技場内芝生上を通行してもよい。天候等によってはダッグアウトを通行してもよいが、密にならないように注意すること。また、進行中の競技に配慮すること。
- リレーバトン・砲丸・円盤・ターボジャブ等、複数の選手や役員が触れると考えられる備品に関しては、適宜アルコール消毒を行う。
- 競技者が1カ所に集まると想定される競技前の待機中は、ソーシャルディスタンスを確保し、密にならないよう配慮する。また、競技者同士の必要以上の会話等は控えること。
- 記録の発表はアナウンスおよび大型スクリーン、WEBの速報サイトのみとする。原則掲示は行わない。
- 棒高跳・砲丸投で使用する滑り止めは主催者では準備しない。また、各自で準備したとしても他人と共有しない。
- 表彰は行わない。1位から8位までの入賞者の賞状は、顧問もしくは監督がエントランスホールまで取りに来ること。

以上のように、感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、100%感染を防止するわけではありません。万が一、新型コロナウイルスの感染が確認されたとしても、主催者は責任を追うことができない点をご了承ください。